



# クローバー



ホームページ <http://akiyoshihp.jp>

【理念】 医療法人秋芳会は医療・保健・介護、各領域のサービスを一体的に提供し地域に関かれ、地域に選ばれ、地域に親しまれる法人を目指します。

## リハビリテーション科より

リハビリテーション科は医療・介護分野共に開設当初から「発症早期からのリハビリテーション」、「医療・介護の質向上」「地域連携」、を目指し、スタッフ全員が高い意識をもって活動を行っています。

今回の介護保険制度の改正では、今後進んでいく高齢化社会において、「医療から介護へ」「施設から在宅へ」と、国の在宅生活への働きかけが一層高まっており、退院後在宅での第2の人生を構築するために役割を担うリハビリテーションが、より大切な位置づけとなっています。

私たちが引き続き、急性期・回復期（入院リハビリ）⇔生活期（在宅・通所リハビリ）の双方向の流れを把握し、患者様（利用者様）、ご家族の不安がなくスムーズにサービスを提供する事、高齢者そして障害者の「尊厳ある自立」を達成するために、生活者としての視点を見失うことなく、他のスタッフとのチームアプローチの実践、地域社会、関係機関との相互の連携を大切にし、患者様の日常生活レベル改善（ADL）、生活の質（QOL）向上のため責任を持って取り組んでまいります。

主任 小名川 知徳

## 高齢者の食育・・・（食べることは生きること）

高齢者の食については、美味しく食べられているか、栄養的バランスが取れているか、そして、現在の食べる為の咀嚼や嚥下の能力はどれくらいあるのか・・・

など、まわりの人がよく把握しておかなければなりません。

なぜなら、年齢を重ねると、食へのアクセスが遠のいていくからです。手足の筋力が低下すると、買い物も億劫になり、料理が面倒になります。

また、噛むチカラが衰えることと、飲みこむときにむせることが多くなり、ついには、食べる体力も弱っていきます。

うまく飲み込めないと、気管から肺に食べ物が誤って流入するという「誤嚥」を引き起こし、生命の危険につながります。

なのでいつも高齢者の食事に気を配り、自分で食事を選べる場合には自分で選ぶ、サポートが必要な人には適切なサポートをしていくように取り組んでいくなど工夫が必要です。



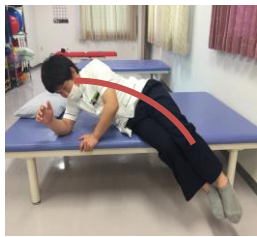
**食事についてのご相談等は栄養科まで！！**

# ～リハビリテーション科より～

起き上がり・移乗動作についての勉強会を行いました。

基本的な動作について

## ① 寝返り、起き上がり



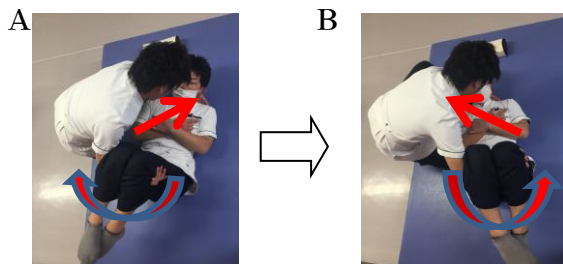
• やじろべーをイメージして足の重みを利用して、起き上がり動作を行う。

## ③ 立ち上がり



• 立ち上がる際の開始肢位、足は手前に頭は前に

## ② ベッド上での移動



• A→Bの繰り返し ベッドとの接触面を減らし重心移動をしやすくする。上下移動の際は、斜め上方にスライドするようにする。

## ④ ベッド～車椅子への移乗



立ち上がった時と、座る時とではつま先の位置が90度程度異なる。踏み返しが可能であれば、行った方が望ましい。基本的に動作は分割して行う。画像中央の場面で何回か踏み返す事で、安定性抜群。

## 診療時間のご案内

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30 ) 12:00	秋吉 担当医	秋吉 担当医	秋吉 担当医	秋吉 循環器科 担当医	秋吉 担当医	秋吉 循環器科 ※②松尾
午後 13:30 ) 17:30	秋吉 担当医	秋吉 担当医	秋吉 ※①小野 ※②松尾 担当医	秋吉 循環器科 担当医	秋吉 担当医	休診

※①水曜日の小野医師は整形外科専門医

※②松尾医師は糖尿病専門外来医師。水曜日は第1・3・5診療、土曜日は第2・4診療

## 編集後記

10月になりもうすっかり秋ですね。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋です。

当院は観光名所である豆田の街並みにあります。多くの観光客が訪れ秋を満喫している様子うかがえます。皆様もウォーキングがてら街並み散策はいかがでしょう？

広報委員会一同